

令和 4 年度の主要取組について

【基本方針 1 スポーツ・運動習慣の充実】

施策 1 スポーツ・運動習慣定着による健康増進

●アウトリーチ型体力測定会の実施（通年）

対象：ビジネスパーソン世代

スポーツ・運動習慣化率が低いビジネスパーソン世代に、スポーツ・運動を行うきっかけを提供するため、市内 8 事業所（計 712 名）で実施し、当日及び 3 か月経過後にアンケートを行った。

【3 か月後アンケートより（回答者：232 名（3 月時点））】

「現在も体力測定会参加前と同じ頻度で運動・スポーツを行っている」、「体力測定会参加後にスポーツ・運動の実施頻度を増やした（意識して行うようになった）」人の割合が 49.2%

「体力測定会参加前も参加後もまったく運動・スポーツは行っていない」理由としては、「時間が無い」と回答した人が 58 名で最も多かった。

●高齢者トレーニングジム初回講習料の無料化（通年）

対象：高齢者

高齢者の運動習慣定着による健康増進や社会参加を促進するため、65 歳以上の市民を対象に体育館トレーニングジムの初回講習料を無料化（利用者：236（2 月末時点））

【アンケート結果】

利用者のうち 93%が「トレーニング室を継続利用したい」と回答

●親子でキャッチボールフェスティバル in OSAKA_SAKAI（5 月、10 月）

対象：小学 1 年生以下の子どもとその保護者

子ども達のスポーツ・運動の推進のため、大阪府高等学校野球連盟が、くら寿司スタジアム堺にて親子で参加できるキャッチボール体験会のイベントを開催（参加者：5 月 170 名、10 月 139 名）

●オクトーバーラン&ウォークの開催（10 月）

対象：スマートフォンが使用できる人であれば誰でも参加可

新型コロナウイルス感染症により運動不足となった人が手軽に参加できるよう、参加者が同時にひとつの場所に集まらなくても他者と競える ICT を活用したイベントを開催（参加者：486 名）

●運動部活動の地域移行に向けた休日イベントの開催（令和 5 年 1 月）

対象：中学 1、2 年生の陸上部

運動部活動の地域移行に向け、外部指導の在り方を検討するため、（公財）堺市教育スポーツ振興事業団がオリンピック渋井陽子氏をお招きし、金岡公園陸上競技場で練習会を開催（参加者：計 19 校、39 名）

【アンケート結果】

・「とても役に立つ」・・・約 89%

・「また参加したい」・・・約 94%

【参加者の声】

・今まで長距離を走った中で 1 番楽しかったです。

・プロの方に教えてもらう機会があってよかったと思います。

・オリンピックにいろいろなことを聞けたし、たくさんの学校の子と友だちになれてうれしかった。良い練習ができた。

施策 2 気軽にできるスポーツ機会の創出

- スポーツ推進委員の活動支援（通年）
対象：スポーツ推進委員（114名）
地域スポーツの推進を担うスポーツ推進委員の活動を支援するため、様々な取組を実施
 - ・スポーツ大会：バレーボール大会（12月）、卓球大会（2月）
 - ・研修会：グラウンドゴルフ実技研修会（7月）、堺市総合防災センター視察（2月）
 - ・各種会議：総会（7月、9月）、各区会議（5月、2月）

- 総合型地域スポーツクラブへの支援（通年）
対象：総合型地域スポーツクラブ、クラブ創設をめざす団体
地域におけるスポーツ活動を推進するため、総合型地域スポーツクラブ推進ネットワーク堺において既存の総合型地域スポーツクラブ（3団体）やクラブの創設をめざす団体（2団体）に対し、「人材育成」、「活動支援」等を実施

- 市立体育館等でのスポーツ教室（通年）
初心者でも気軽にスポーツに親しむ機会を提供するため、市立体育館等において子どもや親子等さまざまな世代に対して、各種スポーツ教室等を開催（教室数：294教室（2月末現在））

- 出前講座（通年）
気軽にできる運動の周知・啓発を行うため、簡単にできる体操や、ウォーキングコースの紹介、ニュースポーツの体験を実施（老人福祉センター、就労継続支援B型施設の計4施設 参加者64名）

- 市スポーツ施設の維持管理、改修整備（通年）
市民が安全・安心に利用できるよう、体育館の設備機器、テニスコートの人工芝等の改修・更新を実施

- 市民向け体力測定会（10月、3月）
対象：20歳以上
自身の体力を把握してもらい、運動やスポーツを始めるきっかけとしてもらうため、（公財）堺市教育スポーツ振興事業団が市民向けに体力測定会を金岡公園体育館で実施

施策 3 多彩なスポーツ活動を通じた交流促進

- ニュースポーツの普及促進（通年）
幅広い世代がスポーツに親しめるニュースポーツ用具の貸出を市内各体育館で実施
（種目：グラウンド・ゴルフ、バウンド・テニス、シャッフルボードなど）

- 指導者養成講座の開講（通年）
スポーツを推進するために欠かせない指導者やボランティアの育成のため、（公財）堺市教育スポーツ振興事業団がスポーツマネジメントや事故防止等の9講座を開講

- ブラインドサッカー体験会（5月）
障害者スポーツへの関心を高めるため、特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会の協力のもと、J-GREEN堺にて実施

- 堺市民オリンピックによる地域交流（10月）
幅広い世代がスポーツを通じて交流を深める機会を提供するため、市内各小学校区選手団によるスポーツ交流大会を3年ぶりに開催（参加者：約2,791名）
- 全日本選手権自転車競技大会-BMXレーシング（10月）
アーバンスポーツの1つであるBMXの全国大会がどろんこ広場（大泉緑地）で開催、子供向けのBMX体験ブース等も併せて出展
- ポッチャ&車いすツインバスケットボール体験会（12月）
障害のある方、ない方が一緒に体験し、障害者に対する理解を深め、障害者スポーツへの関心を促進するため、関西大学と連携し、堺市立健康福祉プラザで実施
- URBAN SPORTS FES OSAKA プレイベント（令和5年1月）
大阪府が、万博に向け、スポーツツーリズムに取り組む一環として、堺市出身を含む大阪ゆかりのトップ選手によるショーケースやスケートボード、BMX、VRの体験等、府主催のアーバンスポーツのイベントをららぽーと堺で開催
- URBAN SPORTS FES OSAKA（令和5年3月）
大阪府では、3月に、大阪初となる、世界トップ選手が登場し、一流選手とともにショーや体験が楽しめる大規模なアーバンスポーツのイベントをインテックス大阪で実施しており、堺市からは広報ブースの出展等で協力
- KIX 泉州国際マラソンの開催（2月）
堺市が共催となり、浜寺公園（堺市）からりんくう公園（泉佐野市）の42.195kmで行われるマラソン大会を3年ぶりに開催。（ランナー：約4,128名、ボランティア：約2,578名）

【基本方針2 堺のスポーツの魅力の創出】

施策1 特色ある大規模スポーツ施設の活用

- 全国大会、国際会議、大規模イベントの誘致（通年）
 - ・JCI ASPAC 堺高石大会 開会式、総会等（5月・大浜だいしんアリーナ）
 - ・第38回全国高校生グレコローマンスタイルレスリング選手権大会（8月・金岡公園体育館）
 - ・第47回全国学生相撲個人体重別選手権大会（9月・大浜公園相撲場）
 - ・第26回全国シニアサッカー競技大会（11月・J-GREEN 堺）
 - ・第45回全日本大学軟式野球選手権大会（11月・くら寿司スタジアム堺ほか）
 - ・第7回全国ディスコン大会 in 大阪（11月・大浜だいしんアリーナ）
 - ・第89回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会（12月・大浜だいしんアリーナ）
 - ・SPARTAN RACE（12月・原池公園園地、体育館、くら寿司スタジアム堺）
 - ・日本ハンドボールリーグ（2月・大浜だいしんアリーナ）
 - ・2022年度全日本シニア柔道体重別選手権大会（2月・大浜だいしんアリーナ）
- 競技スポーツ大会補助金（通年）
競技スポーツの振興を図るとともに、堺市民へのスポーツの奨励に資することを目的として、2大会に支出（992千円）

施策 2 堺ゆかりのトップレベルチームとの連携強化

●堺プレイザーズ

- ・プレシーズンマッチへの1,000名無料招待、レシーブ体験会（9月）
小さい子どもを連れた子育て世代など幅広い世代の方に観戦をする機会を提供するため実施。併せて小学生から高校生を対象にトップレベルチームと交流する機会を提供するため、レシーブ体験会を開催。
（参加者：32名）
- ・V.LEAGUE 公式戦への市民無料招待（10月～3月）

●セレッソ大阪

- ・堺市民1,000名無料招待（7月）
昨年度、新型コロナウイルス感染症等の理由で出来なかった優待イベントを実施
- ・ウクライナから堺市・大阪市へ避難された方（59名）を無料招待（9月）

●セレッソ大阪堺レディース

- ・大阪市民及び堺市民500名無料招待（10月）

●オリックス・バファローズ

- ・ファーム（2軍）公式戦をくら寿司スタジアム堺で開催（5月）
運営ボランティアとして大阪公立大学の学生の協力を得、昨年度雨で中止となったファーム（2軍）公式戦を実施
- ・市内総合型地域スポーツクラブにOBを講師として派遣（12月）
派遣依頼のあった総合型スポーツクラブにオリックス・バファローズOB選手を講師として派遣
- ・堺ベースボールフェスタの開催（12月）
対象：野球チームに未加入の小学1年生～4年生
オリックス・バファローズ現役選手による野球体験教室を開催（参加者：103名）

施策 3 世界で活躍する次世代人材の育成

●堺ゆかりのアスリートの発信（通年）

友野一希選手、平野流佳選手をはじめとした堺ゆかりの選手の情報を市民に知ってもらうだけでなく、これをきっかけに市民のスポーツに対する関心を高め、次世代人材の育成につなげるため Twitter 等を活用し広く発信（フォロワー数：3,039名）

●表敬訪問（通年）

大会等で優秀な成績を収められた市ゆかりの選手を激励するため、表敬訪問を受け入れた。また、堺で活躍する選手を知っていただき、スポーツに対する関心を高めるため報道発表や Twitter 等で発信（R4実績：10件（R5.2月末））

●学生競技スポーツ全国大会出場奨励金（通年）

対象：学生
子ども達がスポーツに対する情熱や意欲を高め、自らを成長させる機会となる国際大会や全国大会への出場支援を行うため、奨励金を支給（R4実績：146件（R5.2月末まで））

●堺ジュニアスポーツ教室（6月）

対象：小学生

子ども達のスポーツへの関心を高め、スポーツに親しむ機会を提供するため、（公財）堺市教育スポーツ振興事業団がトップレベルチームと連携し、バレーボール、サッカー、バスケットボール教室等を実施

（参加者：341名）

●親子ティーボール教室（9月）

対象：5歳～小学1年生

トップアスリートと子ども達との交流促進のため、（公財）堺市教育スポーツ振興事業団がオリックス・バファローズOB選手による親子ティーボール教室を開催（参加者：40組）

●「FUN RUN」イベント（堺市民オリンピック同時開催（10月）

対象：小学1年生～6年生

トップアスリートの技術に直接触れ、子ども達に夢や憧れを持ってもらうため、堺市民オリンピックに併せ、オリンピック金丸祐三氏による走り方教室、競技実演を実施（参加者：66名）

●折り紙プロジェクト（11月）

FIFAワールドカップカタール2022の開催に伴い、ワールドカップの機運醸成を行うため、JFAと連携し、FIFAワールドカップカタール2022に出場する選手への応援メッセージを集めるイベントをJFA主催でJ-GREEN堺で実施